

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)リコット岡崎市宮地町	階数	地上8階
建設地	愛知県岡崎市宮地町字郷東25-1, 25-3, 26-1, 26-2, 27	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	277 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年11月8日
敷地面積	3,447 m ²	作成者	嶺澤 健二
建築面積	1,232 m ²	確認日	2021年11月9日
延床面積	6,134 m ²	確認者	成瀬 德行



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>78%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	78%	③上記+②以外の	78%	④上記+	78%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	78%									
③上記+②以外の	78%									
④上記+	78%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 重点項目					
<p>①地球温暖化への配慮 3.8</p>	<p>③敷地内の緑化 1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>19.7 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	19.7 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	19.7 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<p>②資源の有効活用 2.7</p>	<p>④地域材の活用 1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階										
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数					
Q 建築物の環境品質										3.1		
Q1 室内環境						0.40				3.5		
1 音環境						0.1	3.0	0.15	3.1	3.1	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	3.0	0.50		3.0	0.50	
1.2 遮音						0.5	3.0	0.50		3.2	0.50	
1 開口部遮音性能							3.0	1.00		3.0	0.30	
2 界壁遮音性能							3.0	-		3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					LL-45の床材を採用		3.0	-		4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	-		3.0	0.20	
1.3 吸音							3.0	-		3.0	-	
2 温熱環境						0.3	3.0	0.35	4.0	4.0	1.00	3.9
2.1 室温制御						1.0	3.0	1.00	4.0	4.0	1.00	
1 室温						3.0	-	-		-	-	
2 外皮性能					住宅性能評価 断熱等性能等級4を取得予定	3.0	3.0	1.00		4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						3.0	3.0	-		-	-	
2.2 湿度制御						3.0	-	-		-	-	
2.3 空調方式						3.0	-	-		-	-	
3 光・視環境						0.2	3.0	0.25	3.2	3.2	1.00	3.1
3.1 昼光利用						0.3	3.0	0.30	2.4	2.4	0.50	
1 昼光率						3.0	-	-		3.0	0.50	
2 方位別開口							-	-		1.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	3.0	1.00		3.0	0.20	
3.2 グレア対策						0.3	3.0	0.30	4.0	4.0	0.50	
1 昼光制御					カーテン・庇を組み合わせ昼光を制御	5.0	3.0	1.00		4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	3.0	0.15		-	-	
3.4 照明制御						3.0	3.0	0.25		-	-	
4 空気質環境						0.2	3.6	0.25	3.6	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策						0.6	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	3.0	4.0	1.00		4.0	1.00	
4.2 換気						0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	-		3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-		-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-		-	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	-		-	-	
Q2 サービス性能								0.30				3.2
1 機能性						0.4	2.4	0.40	3.8	3.8	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ						0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	-	-		-	-	
2 高度情報通信設備対応					充分な光機器スペースを確保	3.0	-	-		5.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	3.0	1.00		-	-	
1.2 心理性・快適性						0.3	1.0	0.30	2.0	2.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)						3.0	-	-		3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-		-	-	
3 内装計画						3.0	1.0	1.00		1.0	0.50	
1.3 維持管理						0.3	3.0	0.30		-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	3.0	0.50		-	-	
2 維持管理用機能の確保							3.0	0.50		-	-	
2 耐用性・信頼性						0.3	3.1	0.31				3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						0.4	3.0	0.48				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能						3.0	3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数						0.3	3.5	0.33				
1 躯体材料の耐用年数							4.0	0.23				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					②		3.0	0.23				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							3.0	0.09				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔							3.0	0.08				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔							5.0	0.15				
6 主要設備機器の更新必要間隔					給排水管は硬質塩化ビニル管を使用(M-02図)		3.0	0.23				
2.4 信頼性						0.1	2.8	0.19				
1 空調・換気設備						3.0	3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備						3.0	2.0	0.20				
3 電気設備						3.0	3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法						3.0	3.0	0.20				
5 通信・情報設備						3.0	3.0	0.20				

3 対応性・更新性				0.2	3.2	0.29	2.8	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	-	2.6	2.6	0.50	
1 階高のゆとり				-	-	-		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	-	-		2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				1.0	3.2	1.00	-	-	-	
1 空調配管の更新性			②	-	-	-	-	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	4.0	0.20	-	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.13	-	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.13	-	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.27	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.27	-	-	-	
性能評価 維持管理対策等級2を取得予定										
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.30	-	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	-	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性										3.2
LR1 エネルギー						0.40	-	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制				住宅性能評価 断熱等性能等級4を取得予定	3.0	4.0	0.33	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.17	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.89	3.0	4.2	0.33	-	-	4.2
4 効率的運用					0.1	3.0	0.17	-	-	3.0
集合住宅以外の評価										
4.1 モニタリング					3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	-	-	-	-	
集合住宅の評価					1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング					-	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制					-	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル										2.7
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水				キッチン水栓:節湯B+C1 便器:大4.8L 小3.6L	3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	2.4	0.63	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減					-	2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	-	-	3.0	1.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自		3.0	3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.0	0.68	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					-	3.0	1.00	-	-	
3 冷媒					3.0	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境										3.0
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率78%	-	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮					0.3	2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止					-	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					-	2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自		-	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			独自	適切な駐車スペースの確保	-	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					-	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音			独自		-	3.0	1.00	-	-	
2 振動			独自		-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制					-	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制					-	1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制					-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					0.2	3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					-	3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)リコト岡崎市宮地町

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:19.7%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)リコット岡崎市宮地町

計画上の配慮事項	
総合	外装にはアースカラーを採用し、周辺環境に配慮。 断熱性能及び熱負荷抑制に配慮し、省エネ性が高まるよう計画。
Q1 室内環境	隣地境界からの距離を離し、採光・通風を確保して居住性を高めるように配慮。
Q2 サービス性能	CATVやインターネットの集合一括サービスによる情報通信設備の充実。 また、管理室を設け建物の維持管理に配慮。
Q3 室外環境(敷地内)	防犯カメラの設置、遠隔監視システム、オートロックシステム、侵入防止格子等により防犯性に配慮。
LR1 エネルギー	外壁の断熱性を高め、共用部の照明はLEDを採用するなど消費エネルギーの低減に配慮。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含む材料を極力使用しないようにし、 各接着剤料は化学物質の排出がないものを使用。
LR3 敷地外環境	騒音等 法令を遵守し、地域環境に悪影響を与えないように配慮。
その他	